

## 21. 新産児に於ける眼科的觀察

東京女子醫學專門學校眼科教室

小野澤敬子

新産児 100 名、即 200 眼に付き分娩後 1 週間以内に、主として眼屈折状態、結膜下出血並びに眼底出血に付き觀察せり。

1) 眼屈折状態に付きては 0.5% アトロピン點眼後檢影法を行ひし結果、多數外國文獻と同じく大多數遠視にして、且 +2 D 最多數を占め、+1.5 D 及び +3 D 之に次ぐ。

2) 結膜下出血は 200 眼中 29 例、即ち 14.50% に於て認め、且その部位は從來一般結膜下出血に於ける報告と同じく臉裂部、特に外眥側に多し。尙 9 眼に於ては眼底出血と合併せり。

3) 眼底出血は 200 眼中 21 眼 10.50% に於て認め、その中 7 眼は片眼に於てのみ、その程度も輕少にして靜脈に沿つてのみ認む。他の 14 眼は 7 名に於て兩眼同時に出血せる者にして程度も高度なる者多く、靜脈のみならず動脈に沿つても多數の出血斑を認む。

尙これ等出血の發生と母體骨盤の廣狹、分娩持續時間、新産児體重及び頭圍等との關係につきては未だ例數儘少にして明かに斷言し得ず。

質 問

本 多 喜 美

結膜下出血或は眼底出血を認められる例のワ氏反應の調査に就て御尋ね致します。

答

小 野 澤 敬 子

斯かる例に就てワ氏反應を検してありませんが、今後の検査の際には行ふ積りでございます。

## 22. 網膜色素變性症に對するトレバナチオンの治療成績に就て

東京女子醫學專門學校眼科教室

喜 井 貞 子

本症は比較的屢々遭遇する疾患にして、其の治療成績に於ても多數の記載はあるも、何れも一時を糊塗するに過ぎざるものの如く、之を根治せしむるが如き方法は望む事能はざるの感あり。演者は本病患者 4 例にストリヒニン注射、高張食鹽水眼球結膜下注射及びホルモン療法を行ひつゝトレバナチオンを試みたるに、視力には特記すべき程の効果なかりしも視野の擴大と共に光神も又増進せられたる好結果を得たるを以て茲に報告せんとす。

## 23. 樹枝状を呈せるデフテリー性喉頭、氣管、氣管枝義膜の二例

東京女子醫學專門學校耳鼻咽喉科教室

窪 敦 子

黒 澤 和 子(演)

氣管及び氣管枝に一致せる完全なる義膜を摘出せる例は從來の報告をみるも尙稀有なり。當教室に於ては本